

令和2年度 事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報											整理番号	052			
事務事業名	各種検診事業費				補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input checked="" type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算	会計名	一般会計	款	項	目	事業
担当部	保健福祉部	担当課	保健推進課		担当係	健康増進係						4	1	5	3
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 健康プランじょうそう・国民健康保険データベース)				根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 健康増進法・がん対策基本法・食育基本法・結核予防法) <input checked="" type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: 第3次健康いばらき21プラン・茨城県がん検診を促進しがん向き合うための県民参画条例・茨城県食育推進計画(第三次)・茨城県歯科保健計画) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称: )									

2 事務事業の概要														
☞ 予算事業全体について記入して下さい。														
対象	各検診対象年齢の市民				・対象者に集団検診・医療機関検診を受診してもらう。 ・検診の必要性や受診方法を周知し、受診勧奨を行う。 ・継続受診者だけでなく、初回受診数を増やしていく。									
目的	検診を受診し、疾患の早期発見及び早期治療を行う。そのことにより重症化や合併症を予防し医療費の削減や健康寿命の延伸を図る。													

3 事務事業の主たる成果指標														
☞ 数値目標の設定が困難な場合は、文言目標でも結構です。なお、設定が困難な事業は空欄とし、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	胃がん検診受診率	単位	%	目標値	10.8	目標年次	令和5	年度		指標及び目標値設定の考え方(または設定できない理由)	常総市死亡数及び標準化死亡比をみると、女性の胃の悪性新生物が全国から比べて有意に高くなっている。また、年々胃がん検診の受診数が減少しており、県の平均受診率より低くなっている。がん基本法ではがん検診受診率を50%以上を目標としている。しかし、当市の受診率は低く目標達成には、時間を要する状況である。そのため、茨城県のがん検診平均受診率を目標値とした。			

4 事務事業の実績 ①															
平成29年度					2年間の主な事業内容(実績)										
決算額	53,724,932	円	特定財源	5,962,600	円	前年度(平成30年度)					今年度(令和元年度)				
内訳			一般財源	47,762,332	円	①集団検診(総合検診)に係る業務 検診日数15日 ②集団検診(一般検診)に係る業務 検診日数30日 ③集団検診(婦人科検診)に係る業務 検診日数15日 ④集団検診予約受付に係る業務 ⑤集団検診検体発送に係る業務 ⑥各検診受診勧奨に係る業務 (予定表作成・検診日程全戸配付・勧奨通知発送等) ⑦医療機関検診に係る業務 1,771件受診 (受診券発行・検診結果入力・結果発送・統計・医療機関の連整等) ⑧がん検診クーポン券に係る業務 1,585件受診 (クーポン券発行・受診勧奨・協力医療機関と事務調整等) ⑨がん精密検査者に係る業務 813件 (家庭訪問による医療機関受診勧奨・未受診者へ電話及びハガキによる受診勧奨) ⑩肝炎事業に係る業務(受診勧奨・フォローアップ事業) 9,343件 ⑪骨粗しょう症検診に係る業務 510件 ⑫口腔機能検査に係る業務 81件 (受診勧奨・検診業務事務及び調整)					①集団検診(総合検診)に係る業務 検診日数15日 ②集団検診(一般検診)に係る業務 検診日数30日 ③集団検診(婦人科検診)に係る業務 検診日数15日 ④集団検診予約受付に係る業務 ⑤集団検診検体発送に係る業務 ⑥各検診受診勧奨に係る業務 (予定表作成・検診日程全戸配付・勧奨通知発送等) ⑦医療機関検診に係る業務 1886件受診 (受診券発行・検診結果入力・結果発送・統計・医療機関の連整等) ⑧がん検診クーポン券に係る業務 698件 (クーポン券発行・受診勧奨・協力医療機関と事務調整等) ⑨がん精密検査者に係る業務 726件 (家庭訪問による医療機関受診勧奨・未受診者へ電話及びハガキによる受診勧奨) ⑩肝炎事業に係る業務(受診勧奨・フォローアップ事業) 7,575件 ⑪骨粗しょう症検診に係る業務 460件 ⑫口腔機能検査に係る業務 74件 (受診勧奨・検診業務事務及び調整)				
目標に対する実績値	8.6				%										
(住民一人あたりの行政コスト)	889				円										
平成30年度															
決算額	55,772,818	円	特定財源	7,204,900	円										
内訳			一般財源	48,567,918	円										
目標に対する実績値	9.1				%										
(住民一人あたりの行政コスト)	930				円										
令和元年度															
決算額	54,129,574	円	特定財源	3,880,600	円										
内訳			一般財源	50,248,974	円										
目標に対する実績値	9.2				%										
(住民一人あたりの行政コスト)	909				円										

5 担当課評価 ②		☞ 実施したことによる成果や課題を記入してください。	
成果	目標未達成		
成果内容分析	国立がん研究センター作成の効果的な勧奨資材を活用し、検診予約予定日の2週間前に受診勧奨ハガキを発送した(55歳から69歳社会保険加入者4,952人)。その内181人が受診。 H30年度受診数1,695人 → R元年度受診数1,735人 受診数が40人増加した。		
課題	胃がんは早期発見・治療により生存率が伸びるが、常総市は胃がんでの死亡率が高い。胃がんの予防や早期発見・治療に結び付け生存率の延伸及び医療費の削減のための対策が必要である。 医療機関での胃カメラ検査の助成額が低く自己負担額が1万円を超え、市民の負担が大きく受診環境を整える必要がある。		

6 担当部長評価 ③		☞ 担当部長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	当市のがん検診の受診率は茨城県の受診率を下回っている状況にあり、特に胃がん検診の受診率が、平成30年度では、44市町村中35位と低迷していることから、受診勧奨を強化し市民の健康管理意識及びがん検診受診率の底上げを図る必要がある。 また、胃がん検診の医療機関検診は現在助成額が低く、市民の負担を軽減するためにも助成額を増やし、受診環境を整える。		

7 実施計画 ④																		
☞ 今後3年間について、何をどの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																		
年度	令和2年度					令和3年度					令和4年度							
事業内容	●集団検診(総合検診)に係る業務 ●集団検診(一般検診)に係る業務 ●集団検診(婦人科検診)に係る業務 ●集団検診予約受付に係る業務(コールセンター並びにWEB予約事業との調整含む) ●集団検診検体発送に係る業務(コールセンター並びにWEB予約事業との調整含む) ●医療機関検診に係る業務 ●がん検診クーポン作成に係る業務 ●がん精密検査者に係る業務 ●肝炎フォローアップ事業に係る業務 ●骨粗しょう症検診に係る業務 ●口腔機能検査に係る業務 @74千円増額 常総市歯科医師会への委託に変更。内容も常総市歯科医師会からの提案により、歯科医師からの個別指導を充実し、歯周疾患の早期発見と早期治療につなげる。 ●各検診受診勧奨に係る業務 ●胃がん検診勧奨通知に係る業務 ・胃がんリスク検診対象者に胃がん検診受診勧奨通知郵送 ●補助金申請に係る業務					●集団検診(総合検診)に係る業務 ●集団検診(一般検診)に係る業務 ●集団検診(婦人科検診)に係る業務 ●集団検診予約受付に係る業務(コールセンター並びにWEB予約事業との調整含む) ●集団検診検体発送に係る業務(コールセンター並びにWEB予約事業との調整含む) ●集団検診WEB予約事業 ●医療機関検診に係る業務 胃カメラ検査の助成額の増額(検査料金の3割を自己負担額とする) @14,700(一人当たり助成額)×100人=1,470,000 @990千円増額 ●がん検診クーポン作成に係る業務 ●がん精密検査者に係る業務 ●肝炎フォローアップ事業に係る業務 ●骨粗しょう症検診に係る業務 ●口腔機能検査に係る業務 ●各検診受診勧奨に係る業務 ●胃がん検診勧奨通知に係る業務 ●胃がんリスク検診に係る業務 ●胃がんリスク検診に係る業務(集団検診で実施) @891千円増額 ・対象: 40.45.50.55.60.65.70歳で過去にピロリ菌検査を実施したことがない市民 ・内容: 血液検査によるピロリ菌検査並びに委縮性胃炎検査 ・費用: @2970×300人=891,000					●集団検診(総合検診)に係る業務 ●集団検診(一般検診)に係る業務 ●集団検診(婦人科検診)に係る業務 ●集団検診予約受付に係る業務(コールセンター並びにWEB予約事業との調整含む) ●集団検診検体発送に係る業務(コールセンター並びにWEB予約事業との調整含む) ●集団検診WEB予約事業 ●医療機関検診に係る業務 ●がん検診クーポン作成に係る業務 ●がん精密検査者に係る業務 ●肝炎フォローアップ事業に係る業務 ●骨粗しょう症検診に係る業務 ●口腔機能検査に係る業務 ●各検診受診勧奨に係る業務 ●胃がん検診勧奨通知に係る業務 ●胃がんリスク検診に係る業務							
成果指標	指標名	胃がん検診受診率	単位	%	目標値	9	指標名	胃がん検診受診率	単位	%	目標値	9.5	指標名	胃がん検診受診率	単位	%	目標値	10
予算額	歳出	計			46,013	千円	歳出	計			57,794	千円	歳出	計			57,794	千円
		特定財源			3,499	千円		特定財源			3,499	千円		特定財源			3,499	千円
	歳入	一般財源			42,514	千円	歳入	一般財源			54,295	千円	歳入	一般財源			54,295	千円
		計			46,013	千円		計			57,794	千円		計			57,794	千円

8 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長評価のとおりでよい。 医療費の削減や健康寿命の延伸を図るためには、さらに受診勧奨を強化し、市民の健康管理意識及びがん検診受診率の底上げをすることが必要である。検診の重要性のPRを強化だけでなく、受診環境の整備も含めて検討し、受診率向上に努めていただきたい。	

9 最終評価(行政改革推進本部) ⑤	
事務事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	今後は、受診勧奨を強化し市民の健康管理意識及びがん検診受診率の底上げを図り、それに加え、他の施策も併用して受診率の向上につなげていただきたい。

10 事務事業の改善点と理由 ⑥		☞ 実施計画のみ作成する場合も記入してください。	
事業内容			